

# TOPICS

## コロナ下の働き方改革が及ぼす 「家計」への影響

できる職場から率先して  
働き方改革が進む

たった1年で世界が激変する様子を私たちは今まさに目撃しています。新型コロナウイルスの影響による社会の大きな変化です。

未知のウイルスと向き合う日々において、家族の外出を控えたり、学校が休校になったり（あるいはオンライン授業になったり）、仕事が一気にテレワークを容認するようになったりしました。私たちの暮らし方を「新しい生活様式」として国が示しています。もしかすると「新しいお金の生活様式」を考える時期に来ているのかもしれない。特に大きな変化は「働き方」の見直しです。感染対策の一環としてテレワークを試みる企業が急増しました。

内閣府の調査によれば、今回をきっかけに少しでもテレワークを行った人は、3人に1人にもなったそうです。実は2020年の東京オリンピックが予定通り開催されたときの混雑緩和策として、経済産業省が目指していたテレワーク実施率が10%だったことを考える

と、新型コロナウイルスが大きく時代を動かすきっかけになったことが分かります。

テレワークの取り組みは一過性のもではなく、徐々にテレワークから職場に勤務を戻しているものの、IT企業などを中心に、オフィスの縮小を検討し継続的にテレワークに移行しようという会社もあるからです。

テレワークの推進は、勤務場所の変化だけの問題ではありません。これから進むのは「職場にいた時間で評価する時代の終わり」であり「仕事の内容で評価される時代の始まり」です。テレワークの人事評価を考えたとき、「出社していて、がんばる様子だけを見せている」というのは評価対象ではなくります。

一見厳しいことのようにですが、「子育て中で時短勤務だったけれど、フルタイム勤務の同僚と同じ仕事はこなしてきた（しかし年収は減っていた）」ような人にとっては大きなチャンスとなるかもしれません。

これから、時代の変化が私たちの働き方を大きく変えていくことでしょう。

働き方や生活様式の変化に  
より、家計が変わりつつある

働き方や生活様式の見直しに伴い、あなたの家計にも大きな変動が起き始めています。例えば、新型コロナウイルス以前の家計と、今の家計には以下のような変化が起きているかもしれません。

### 【減少した支出】

- ・ 外食費
- ・ 交通費（仕事の交通費は会社負担だが、家族の外出等の減少もある）
- ・ 交際費（仕事上のつきあい、友人とのつきあい）
- ・ 教養・娯楽費（特に外出に伴う支出）
- ・ その他、全般にムダ遣いが減少

### 【増加した支出】

- ・ 自炊の食費
- ・ 自宅で消費するお酒の量
- ・ 巣ごもり消費（ゲーム代など）
- ・ インターネットでの買い物額

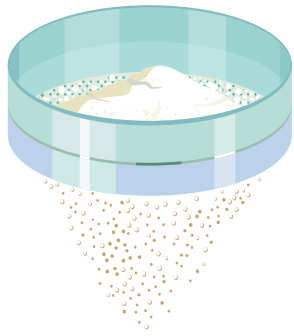
単純に「外出が減ったので、支出は減っているだろう」と考えるのは禁物です。確かに職場の飲み会は1万円以上減ったもの



フィナンシャル・ウィズダム  
代表

山崎 俊輔

【やまさき・しゅんすけ】  
企業年金研究所、FP 総研を経て独立。商工会議所年金教育センター主任研究員、企業年金連合会調査役 DC 担当などを歴任。退職金・企業年金制度と投資教育が専門。多くのメディアで連載中。



の、軽い気持ちでスマホゲームに課金をして  
いると実はけっこうな金額になっている、  
なんてことがあります。全体ではほとんど  
支出に変動がないことも、あるのです。

こうした時期は「変動した支出」を分析  
し、また「本場に必要支出」と「実は  
不要だった支出」をふるいにかけてみたい  
ものです。例えば、「職場の飲み会」など  
の会食は機会が減少しているのではないで  
しょうか。そのときあなたは、どう感じて  
いるでしょうか。

「仲のよい同僚とはまたたまに飲みたい  
な」というのはこれからも少しづつ戻してい  
けばいいでしょう。しかし「本音でいうと、  
イヤイヤつきあっていただけなんだよな」と  
いう会食などは、もう断つてもいいかもしれ  
ません（たぶん「密は控えないので…」とい  
えば、とがめられることはないでしょう）。

日々の当たり前のような買い物や習慣  
も、止めてみると案外困らなかつたりしま  
す。これも発見です。

ある人は一人カラオケがストレス解消で  
したが、自宅のゲーム機に同等の機能が  
あることを知り、しかも格安だと分かって  
からは自宅で歌えばいいと気づきました。

ある人は帰宅途中で夕刊を買うのが日課  
でしたが、テレワークの影響で買わない1カ  
月を過ごしたら、スマホのニュースアプリで  
十分だということに気がついたそうです。

日常生活が大きく変化したことで、削つ  
ても困らない支出に気がつけたのならそれ  
はとても有意義なことです。実はこれから  
心配なのは収入の減少です。民間企業では  
ボーナスが大幅減少した企業のニュースが  
増え始めています。失業者が少しずつ増え  
ているという統計も出始めています。

こうしたアカウントアグリゲーション機  
能はすべての家計簿アプリに備わっている  
わけではありません。「Zaim」「マネー  
フォワードME」「マネーツリー」などが  
そうした機能をもつ家計簿アプリです。初  
期設定は少し苦勞しますが、始めてみると  
「家計簿は苦しい」というイメージが変わ  
り「家計簿は簡単、楽ちん」となります。

### スマホの「家計簿」を使って 家計を見える化してみよう

といつても、家計見直しの前提となるの  
は「現状確認」です。理想的には「コロナ  
前」と「現在」を比較したいところですが、  
現在の家計を把握するだけでも、これから  
の家計の見直しには役立ちます。

家計簿というと、紙の家計簿を記帳す  
るのが大変で億劫というイメージがありま  
す。そういう方には特に、スマホのアプリを  
活用した自動記入をオススメします。

これは「銀行口座」「クレジットカード」  
「電子マネー」「ECサイト」のアカウン  
トをアプリに登録しておく、利用履歴が  
自動的に記帳されていく便利な仕組みで、  
「アカウントアグリゲーション」といいます。

例えば「水道代」を預金通帳から転記し  
たり、インターネットでクレジットカードを  
使って買った金額をいちいち手入力す

る必要はないのです。すべて自動的に記帳  
され、グラフや前月との比較表まで自動的  
に作成してくれます。

こうしたアカウントアグリゲーション機  
能はすべての家計簿アプリに備わっている  
わけではありません。「Zaim」「マネー  
フォワードME」「マネーツリー」などが  
そうした機能をもつ家計簿アプリです。初  
期設定は少し苦勞しますが、始めてみると  
「家計簿は苦しい」というイメージが変わ  
り「家計簿は簡単、楽ちん」となります。

現金払いの買い物もレシートをもらえれば  
スマホのカメラで撮影、一気に認識させるこ  
ともできます。これもまた簡単で楽ですね。  
1カ月も経てば、ほぼ自動的にあなたの家  
計が明らかになってきます。意外な支出も  
気がつくかも。ぜひ家計簿をつけて、家計の  
「見える化」を図り、時代に合ったお金の使  
い方を考えるヒントとしてみてください。

新型コロナウィルスと向き合いながら暮  
らしていく生活を「ウィズコロナ」という言  
い方をすることがあります。ウィズコロナ  
時代のお金の使い方は、きっと今までとは  
変わってくるはずですよ。

ぜひ今までの常識や当たり前の考え方は  
一度捨てて、自分や家族の幸せのために  
どうお金を使っていけばいいか考えてみて  
ください。